



# News Release

2021年7月20日  
日本製鉄株式会社

## 欧州北海での二酸化炭素の回収・貯留プロジェクトに高合金シームレス油井管採用

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）の高合金シームレス油井管が、このたび Equinor ASA（本社：ノルウェー王国、以下、エクイノール）が欧州北海で主導する CCS<sup>※1</sup> プロジェクトである Northern Lights Joint Venture<sup>※2</sup>（ノーザン ライツ ジョイントベンチャー、以下、同 JV）に採用されましたのでお知らせいたします。

同 JV は、ノルウェーの都市部や周辺国の工場で発生する排ガスから回収した二酸化炭素（以下、CO<sub>2</sub>）を、100km 沖合の中間貯蔵基地までパイプラインで運搬した後、海底下 2600m にある貯留層に圧入するサービスの事業化を目指しています。CO<sub>2</sub>を海底下へ圧入する際、液化した高濃度 CO<sub>2</sub>を注入するため、使用する鋼管には高い耐食性が求められます。日本製鉄が開発した高合金油井管は、これまで世界各地の非常に過酷な石油・天然ガス開発に長年採用されてきており、この分野において世界トップシェアを誇ります。同製品は世界でもトップクラスの優れた耐食性を有しており、高濃度 CO<sub>2</sub>環境でも腐食することなく使用できます。同 JV は、2024 年の稼働に向けてすでに着工しており、日本製鉄は、これまでに炭素鋼の油井管を約 130 本（1550 メートル）供給してきました。今般新たに高合金油井管も採用が決定し、2021 年 10 月より供給開始予定です。採用本数は約 120 本（1390 メートル）です。

日本製鉄は、本年 3 月に「日本製鉄カーボンニュートラルビジョン 2050～ゼロカーボン・スチールへの挑戦～」を公表し、“地球”規模での環境課題を、経営の根幹をなす重要課題と位置づけ、これに積極的に取り組むことを決意し、宣言しました。エクイノールとは油井管長期供給契約と戦略的パートナーシップを通じて、30 年以上にわたり油井管の供給と油井管に付帯するサービスを提供していますが、今後もエクイノールをはじめとする世界各国のエネルギー会社とともに、気候変動問題等の解決に向け、積極的に取り組んでまいります。

※1：CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）とは

発電所や化学工場などから排出された CO<sub>2</sub>を他の気体から分離して集め、地中深くに貯留・圧入する「二酸化炭素回収・貯留」技術のこと。

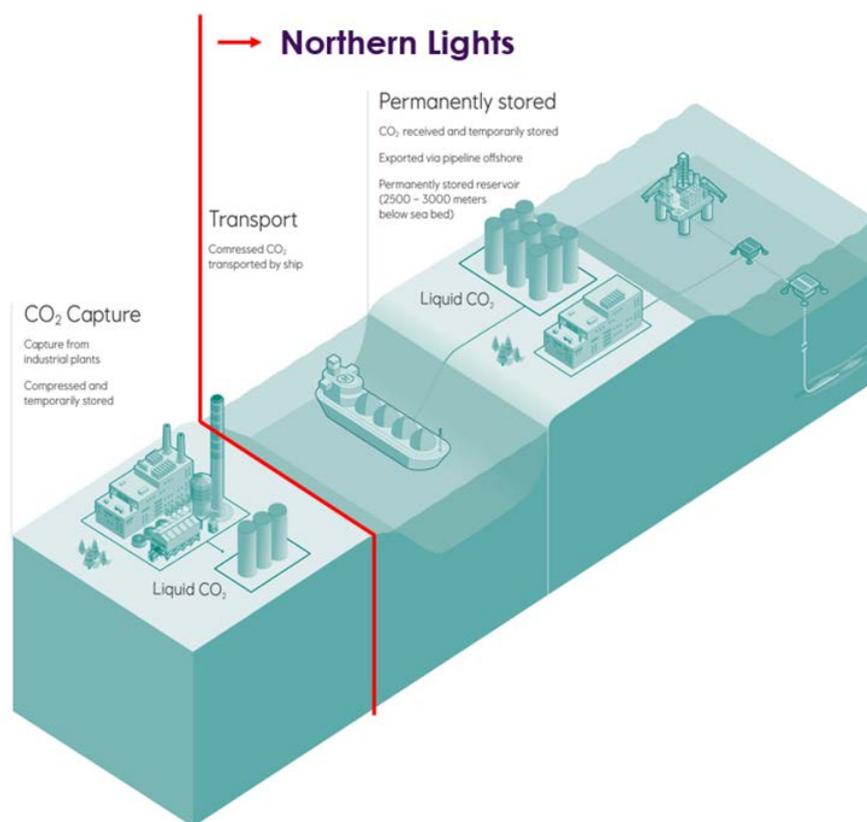
※2：ノーザン ライツ ジョイントベンチャー（Northern Lights JV）について

同 JV は、ノルウェー政府が進める CCS プロジェクト「Longship」の中で輸送・貯留部分を担っており、CO<sub>2</sub>をノルウェー西海岸の陸上ターミナルに輸送し、そこから液化 CO<sub>2</sub>をパイプラインで北海の海底貯蔵施設に輸送、その後海底下 2600m にある貯留層に CO<sub>2</sub>を圧入します。欧州域内の事業者は、CO<sub>2</sub>を安全かつ恒久的に貯蔵する機会を提供するという世界で初めて国境を越えたオープンソース CO<sub>2</sub>輸送・貯蔵インフラネットワーク

Make Our Earth Green



構築を目指しています。同JVはエクイノール、シェル、トタルの共同出資により2021年3月に設立。エクイノールは、陸上および海上施設の操業を担う同JVのサービスプロバイダーであり、2024年の操業開始を予定。



©Equinor



日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動(「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と「産業と技術革新の基盤をつくろう」)を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

以上

お問い合わせ先 : 総務部広報センター 電話 03-6867-2977

Make Our Earth Green

